

第15回えいが部 「小さな恋のメロディ」(1971)

(あらすじ)

ロンドンに住む二人の少年、ダニエルとトム。気が弱いダニエルに対して活発なトムは、対照的な性格でありながら仲の良い友人同士だった。そんな二人の通うパブリックスクールは規律を重んじる校長のもと、生徒間でも規律を守る者とそれに対する者との間でささやかな対立がしばしば起こっていた。そんなある日のこと、ダニエルは同じ学校に通う女子生徒・メロディの姿を見て彼女のことが好きになる。その日からというもの、ダニエルはメロディのことばかり考えるようになるが、メロディもまたダニエルに惹かれていく。学校をさぼって海に遊びに出かけるダニエルとメロディ、それをとがめる大人たち、そして二人をからかうトムたち。そんな中でもダニエルとメロディは自分たちの愛が真実であることを語り、「結婚したい」ことを告げる。

監督 ワリス・フセイン

- ・愛のふれあい (A Touch of Love 1969年)

脚本 アラン・パーカー

- ・ダウタウン物語 Buggy Malone (1976年、兼脚本)
- ・ミッドナイト・エクスプレス Midnight Express (1978年)
- ・フェーム Fame (1980年)
- ・ピンク・フロイド ザ・ウォール Pink Floyd The Wall (1982年)
- ・バーディ Birdy (1984年)
- ・エンゼル・ハート Angel Heart (1987年、兼脚本)
- ・ミシシッピー・バーニング Mississippi Burning (1988年)
- ・愛と哀しみの旅路 Come See the Paradise (1990年、兼脚本)
- ・ザ・コミットメンツ The Commitments (1991年)
- ・ライフ・オブ・デビッド・ゲイル The Life of David Gale (2003年、兼製作)

製作 デヴィッド・パットナム

- ・マーラー Mahler (1974) ※製作総指揮
- ・リストマニア Lisztomania (1975)
- ・ダウタウン物語 Buggy Malone (1976) ※製作総指揮
- ・デュエリスト/決闘者 The Duellists (1977)
- ・ミッドナイト・エクスプレス Midnight Express (1978)
- ・炎のランナー Chariots of Fire (1981)
- ・ローカル・ヒーロー/夢に生きた男 Local Hero (1983)
- ・キリング・フィールド The Killing Fields (1984)
- ・ミッション The Mission (1986)
- ・メンフィス・ベル Memphis Belle (1990)

撮影 ピーター・サシツキー

- ・Charlie Bubbles (1967) - 監督：アルバート・フィニー
- ・ロッキー・ホラー・ショー The Rocky Horror Picture Show (1975) - 監督：ジム・シャーマン
- ・リストマニア Lisztomania (1975) - 監督：ケン・ラッセル
- ・スター・ウォーズ エピソード5/帝国の逆襲 (1980) - 監督：アーヴィン・カーシュナー
- ・恋におちて Falling in Love (1984) - 監督：ウール・グロスバード
- ・裸のランチ Naked Lunch (1991) - 監督：デヴィッド・クローネンバーグ
- ・マーズ・アタック! Mars Attacks! (1996) - 監督：ティム・バートン
- ・アフター・アース After Earth (2013) - 監督：M・ナイト・シャマラン

ダニエル・ラティマー(マーク・レスター)

マイケル・ジャクソンの子供たちの代父母(ゴッドファーザー)でもある。ジャクソン5がロンドン公演に来たときに、マークのファンであったマイケルがマークに面会を求めて来た時からの親友であると言い、マイケルが亡くなる1週間前にも電話で会話したという。マイケルに精子提供をしたこともあると発言し、マイケルの娘パリスは自分の子供だと思っていると語っている。

- ・華氏 451 Fahrenheit 451 (1966年)
- ・オリバー! Oliver! (1968年)
- ・小さな目撃者 Eyewitness (1970年)
- ・卒業旅行 Little Adventurer (1973年) (東宝映画 1973年3月3日)

メロディ・パーキンス(トレイシー・ハイド)

「小さな恋のメロディ」の後、イギリスでBBCなどのいくつかのTVシリーズに出演。日本でも1972年に沖雅也を相手役にした映画が企画された。しかし勉強を続けることを望み、女優業を休業。秘書養成学校を卒業したあと法律事務所で秘書として働いていた。80年代に再び女優として復帰。いくつかの映画やテレビに出演した。現在は結婚し、3人の子供の母親として静かに暮らしている。

トム・オンショール(ジャック・ワイルド)

幼少期、歌手フィル・コリンズと同じサッカーチームに所属しており、彼の母親で芸能プロダクションで働いていたジューン・コリンズによって発掘される。映画『オリバー!』(1968年)でスリの少年ドジャー役を演じ、16歳にしてアカデミー助演男優賞にノミネートされたほか、『ロビン・フッド』(1991年)などにも出演した。2001年にがんと診断され、2004年に声帯と舌の一部を切除する手術を受けた。術後も声を失いながらパントマイムで舞台に出演していたが、2006年3月1日、口腔癌のため死去した。53歳没。

- ・オリバー! - Oliver! (1968年)
- ・ハメルンの笛吹き - The Pied Piper (1972年)
- ・アリス - Alicja (1982年)
- ・ロビン・フッド - Robin Hood: Prince of Thieves (1991年)

ミスター・パーキンス(ロイ・キニア)

- ・丘
- ・ウォーターシップダウンのうさぎたち
- ・三銃士
- ・ヘルプ!4人はアイドル
- ・不思議の国のアリス(1972)

欧米ではほとんど評価されなかったが、日本と南米で大ヒットを記録し、今も根強いファンを持つ局地的名画。脚本は当時26歳のコピーライターだったアラン・パーカー。ビージーズの楽曲7曲の権利を買ったプロデューサーのデヴィッド・パットナムから、曲を基に子供が主人公のラブストーリーの脚本執筆を依頼された。後にアカデミー賞2部門受賞の『ミッドナイト・エクスプレス』(パーカー監督作・1978)やアカデミー賞4部門受賞の『炎のランナー』(1981)などアカデミー賞受賞作を連発したパットナムは、パーカーの広告代理店時代の元同僚で、初の長編映画製作にあたってパーカーに声をかけたのだという。ダニエルはパットナムの、トムはパーカーの少年時代の思い出をベースに作られたキャラクターだそうだ。パーカーは第2班の監督として、校内の生徒たちの様子や運動会シーンなどを担当。メインキャスト以外の少年少女の奮闘をみずみずしく捉えた映像は傑出している。CM監督の経験はあったものの映画界への野心はなかったパーカーは、本作によって映画作りに魅了されたと後に語っている。撮影監督は、後にデヴィッド・クローネンバーグ監督とのコンビで知られるピーター・サシツキーだ。